

# 本島通信

本島大教会 神殿講話(要旨)

【立教180年7月22日】

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268  
**天理教本島大教会**  
 電話 0877-27-3321 (代)

本島通信編集室 R.170725-0727-15  
 奈良県天理市指柳町270-1  
 本島詰所 〒632-0093  
 電話 0743-63-1571 (呼)

Email: news@honjima.com  
 発行部数: 949部 (先月比±0)

大教会 朝夕おつとめ時間  
 【6月1日～8月31日】  
 朝づとめ 午前6時00分  
 タづとめ 午後7時00分

## 喜びは人へ伝わる 陽気ぐらしの輪を広げよう

本島大教会長 かたやまかんた  
片山幹太

今月も大勢の帰参者の方々と、結構に月次祭を勤めさせて頂くことができました。誠にありがとうございました。

今日は「喜び」をテーマにお話を進めさせて頂きたいと思えます。

私たちは日々常々、成つて来ることに親神様の思召を悟り、喜んで受け止めさせて頂くことが大切です。

私は御本部の青年づとめを4年半、勤めさせて頂きました。そのときのことです。

私の直接の上司であった先生に赤ちゃんがお生まれになりました。ところが朝、お会いしたとき、どういいうわけなのか暗い表情で真柱様のお宅へ入って行かれたのです。

小一時間ほど経って、先生が真柱宅

より戻って来られ、やはり落ち込んだ暗い表情をされています。私は「先生、何かあったのですか。赤ちゃんがお生まれになったと聞いてますが……」とお尋ねすると、先生は「実は生まれたのは有難いんやけど、お医者さんから『覚悟しなさい』と言われたんや。厳しい状態で、このまま成長はちよっと難しいらしい」とのことです。

真柱様は教務によりご不在で、代わりにまさ奥様(前真柱様の奥様)がいらつしゃつて、いろいろお話を聞いて頂いた後、奥様から「喜びなさい」と言われたそうです。

私はそのとき、先生にかけける言葉も見つからなくて、ただ「そうですか。すみません」としか言えなかつたのですが、午後になると先生はいつも通り勇んでひのきしんをされている姿がありました。

「成つてくることは、親神様の大きな親心なのですから、どんな時でも喜びなさい」と言われたまさ奥様もすごいですが、それをしっかり受け止めて心を切り替えて通られた先生もすごいと思います。きっと先生は、親神様のご守護と、まさ奥様のお言葉を信じて、心を奮い立たせて、もたれ切つて通られたのでしょう。

そのときのお嬢様は今も元気で御用をされています。親神様からの「ためし」だったのかもしれない。親神様にもたれ切る姿を教えて頂いたように思います。

喜びはあくびと一緒に、人に移っていくものだと思います。ですから、私たちよ、よくは喜ぶ力を身につけて、喜びを拡げて行くのが、大切な信仰姿勢ではないかと思えます。

教祖は教えをよく農事に例えてお話をくださいました。畑を作り、種を蒔き、収穫までたくさん修理丹精が必要で、これは、稔りの喜びがあるからできることです。この喜びを人様と分け合つて生きる心を持たせて頂きたいと思えます。

また、ご守護とは、大きな病気が治つたり、難しい事情が解決したり、ということだけではありません。毎日、食べることができたこと。食べた物が身体の中で消化吸収されること。そしてすっきり排泄されること。これらも身上かしの、かりものの教理が心に治まったなら喜びに変わります。すでに与えられているご守護への喜びは、収穫の喜びでもありません。

喜びにもいろいろありますが、私は



感謝の気持ちのそなわった喜びが大切だと思えます。その喜びに応える行いがひのきしんです。ひのきしんを通して喜びを分け合っていく道を歩ませて頂きたいと思えます。

これまでは、自分自身が喜ぶことを申しましたが、一方で教祖がお喜び下さることは何か、稿本天理教教祖伝逸話篇より2つ、ご紹介したいと思います。

### 七 真心の御供

中山家が、谷底を通っておられた頃のこと。ある年の暮れに、一人の信者が立派な重箱に綺麗な小餅を入れて、「これを教祖にお上げて下さい。」と言って持って来たので、こかんは、早速それを教祖のお目につけた。

すると、教祖は、いつになく、「ああ、そうかえ。」

と、仰せられただけで、一向御満足の様子はなかった。

それから二、三日して、又、一人の信者がやって来た。そして、粗末な風呂敷包みを出して、「これを、教祖にお上げて頂きとうございませう。」と言って渡した。中には、竹の皮にほんの少しばかりの餡餅が入っていた。

例によって、こかんが教祖のお目につけると、教祖は、

「直ぐに、親神様にお供えしておくれ。」

と、非常に御満足の体であらせられた。

これは、後になって分かったのであるが、先の人は相当な家の人で、正月の餅を搗いて余ったので、とにかくお屋敷にお上げしようと言って持参したのであった。後の人は、貧しい家の人であったが、やつのことで正月の餅を搗くことが出来たので、「これも、親神様のお蔭だ。何は措いてもお初を。」というので、その搗き立てのところを取って、持って来たのであった。

教祖には、二人の人の心が、それぞれちゃんとお分かりになっていたのである。

こういう例は沢山あって、その後、多くの信者の人々が時々の珍しいものを、教祖に召し上がって頂きたい、と言って持って詣るようになったが、教祖は、その品物よりも、その人の真心をお喜び下さるのが常であった。

そして、中に高慢心で持って来たようなものがあると、側の者にすすめられて、たといそれをお召し上がりになっても、

「要らんのに無理に食べた時のように、一寸も味がない。」と、仰せられた。

この逸話で分かることは、教祖がお喜びになるものは、品物ではなく、品物をお持ちになった方の心を受け取って下さるのだということです。

「私がお金がない。技術もない。頭も悪い、足も腰も痛い」と思っても、教祖にはそんなことは何も関係ない。大事なものは、その心、心の向きです。先ほどの逸話では、「何は措いてもお初を」という順序の理です。最近、○ファーストという言葉をよく耳にしますが、何を一番に順序を考えるかが大切だと思います。

続いて、

### 一七五 十七人の子供

明治十八年のこと。ある日、教祖は、お側の人達に、

「明日は、阿波から十七人の子供が帰ってくる。」

と、嬉しそうに仰せになった。

が、その翌日も又翌日も、十七人はおろか、一人も帰ってこない。そのうちに、人々は待ちくたびれて、教祖のお言葉を忘れてしまった。しかし、それから十数日経って、阿波から十七人の者が帰って来た。人数は、教祖のお言葉通り、ちょうど十七人であったので、お側の人々は驚いた。

話を聞いてみると、ちょうどお言葉のあった日に出帆したのであったが、悪天候に悩まされて難航を重ね、十数日も遅れたのであった。土佐卯之助たち一行は、教祖のお言葉を承って、今更のように、驚き且つ感激した。そして、教祖にお目通りすると、教祖は、大層お喜び下されて、

「今は、阿波国と言えば遠いようやが、帰ろうと思えば一夜の間にも、寝ていて帰れるようになる。」と、お言葉を下された。

教祖は、人々が親里に帰ってくるのを楽しみにお待ち下さっている。しかも、一人ひとりの帰参の様子を見透して下さっていると悟ることが出来ます。

まもなく「こともおちばがえり」が始まります。教祖からご覧になれば、少年会員も育成会員も、おとなしい子もヤンチャな子も、等しく可愛い我が子です。親里へ帰ってくるのを喜んでお待ち下さっているのです。

引率者は、教祖の親心を思案させて頂きながら、子ども達をおちばに連れ帰らせて頂きませう。

しかしながら、なかなか喜ばないこともあります。例えば夫婦げんか。私

# 立教180年 こどもおぢばがえり



私たちは最近減りましたが、昔はよくありました。でもあるときに気づいたのです。相手は鏡であるということ。全部、自分の至らないところが相手に写っているのです。

すると、教祖の教えは自分の心を磨くための教えなのだ、ということに気づきました。人様を責めるための教えではない。ましてや懲らしめるための教えでは決してありません。

教理で相手をコントロールするのは、とても難しいです。そんなことで腹を立てるより、成ってこない、喜べないことは、相手が悪いのではなく、相手を通して私の心を磨こう、一段階上へ成人させようと思案する教えであります。

相手が悪いのではない。すべては親神様が自分を育てようと思召されているのだ。常に喜びをそこに持たせて頂くことで、難しいハードルをクリアできるようなります。

喜びを見つける心の治め方、明るく陽気な人生へのヒントは、おぢばがえりして、親里で仕込み、伏せ込みを体験することが不可欠だと思います。

そのための、こどもおぢばがえり、学生生徒徒養会高校の部が始まります。さらに8月末から来年3月にかけて、後継者講習会が実施されます。特に後継者講習会には、20歳から40歳までのようばく信者子弟に参加を呼びかけ、誘って頂きたいと願います。そこに喜びの種がきつと見つけられます。

日々の暮らしの中から喜びをたくさん見つけ、その喜びを人様へ伝え、さらにご存命の教祖にお喜び頂ける陽気ぐらしの輪を広げて行きましょう。

ご清聴ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

## 訃報

大教会役員夫人

### 片山みちゑ姉

片山みちゑ姉（大教会役員・本

宣道分教会3代会長故片山健夫人）

は、去る7月10日午前4時45分お

出直しになりました。享年95歳。

葬儀はみたまうつしが7月11日

午後7時30分より、告別式が翌12

日午前10時より、本島大教会にお

いて、大教会会長齋主のもと執り行

われました。

### 片山みちゑ姉略歴

大正11年1月17日生まれ。昭和17

年2月23日、おさづけの理拝戴。

同年2月25日、修養科第8期修了。

昭和22年1月21日、片山健と結婚。

同年9月1日、教師検定合格。同

年9月9日、教師補命。



# 七月月次祭 祭典役割

## 七月月次祭祭文

立教一八〇年七月二十二日

**献饗長** 片山好治  
**伝供** 西山道教・雲庵道延・窪田靖明・篠原丕王・永山晴明・岩橋竜造・平井真治郎・永島宗行・大上道徳・吉田知彦・大西剛・太田昭一・宮路和徳・奥村龍夫・肥後章・茶屋原良昭・位下道治・渡部友見・伊東康成

加藤文男・香川秀孝・宮路茂照・上野作也・鎌田典夫・山下英久・柴田久生・溝口晋太郎・高島榮造  
**雅楽奉仕者** 文岡育則・高垣光治・雲庵春彦・大矢万三・片山直明・長尾海和・岩橋守行・伊東賢太郎・鎌田康典(順不同)

神殿講話	胡三味琴 弓線	向所暉美子	片山榮	長尾澄子	雲庵道延	片山肇	片山好治	寺本教生	牧野道昭	岩橋慶三	ちやんぼん 笛	てをどり	地 方	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	祭主 大教会長	指図方 井上哲	鷹者 片山肇	賛者 吉田晴雄																					
																	老木邦光	岡崎八十則	片山肇	老木邦光	篠原丕王	大上道徳	伊東康成	後藤正治	永島宗行	高垣光治	岩橋竜造	井上力	大西剛	原口和子	梅木澄代	上田敬子	上野作也	位下道治	長門淳一	大矢万三	村田輝夫	吉田知彦	宮路實子	増田弘子	菅岡和美
																	片山肇	老木邦光	永山晴明	吉田晴雄	片山孝代	老木加代子	片山孝子	田中丸勝也	花田百一	平井真治郎	岩橋守行	長尾海和	窪田靖明	雲庵まち子	篠原久子	花田菊子	岩橋竜造	永島宗行	高垣光治	後藤正治	岩橋竜造	井上力	大西剛	原口和子	梅木澄代

このの神床にお鎮り下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太 慎んで申し上げます。

親神様には、世界中の人間を余すことなくたすけ上げる上から、旬刻限の到来を待ちかねて、教祖をやしるに、この世の表にお現われ下さり、よろづ委細の元の真実を教えて、陽気ぐらしへと導く道をおつけ下さいました。

これの名称につながる私共は、この真実の教えに導かれ、親神様のご守護のもとに、日々感謝の心で暮らさせて頂き、教祖のひながたを少しでも歩ませて頂きたいと、届かぬながらも成人への努力に励ませて頂いております。

その中にも今日の吉日は、当大教会の月毎の御祭日に合わせて、本年一年の折り返しの月に当たりますので、今日までの歩みを振り返り、新たな決意を込めて、只今からおつとめ奉仕者一同、心勇んで座りづとめ・てをどりをつとめて、七月の月次祭を執り行わせて頂きます。

御前には厳しい暑さもとわず、大勢の教え子達が帰り集い、共におうたを唱和して、日頃の積もり重なる御恵みに御礼申し上げ、尚も尽させぬ御守護にお継りする真実の状をもご覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

尚又、この月二十六日から八月四日にかけて「立教百八十年」ごもおらば「がえり」が開催されますが、一人でも多くの少年会員が友達を誘い、家族ぐるみで夏のおやすみに集い、をやの御恵みを頂いて、生きる喜びを感謝し、立派なよふ

ばくへと育つ御守護を頂きますよう、又「学生生徒修養会・高校の部」ほか、様々な立場の育成活動が親里で開催されるに併せて、当大教会に於きましては、第一〇四回本島団鼓笛隊夏季合宿並びに「立教百八十年少年会本島団おつとめ総会と夏のつどい」をはじめ、女子青年「こかん様に続く会」と、青年会「あらしきとうりよう入門塾」、学生会「サマーキャンプ」の会活動の期間中、万事障りなく感謝とよろこびの心一杯に、お連れ通り下さいますようお願い申し上げます。

何卒、親神様には、届かぬ所、至らぬ点は幾重にもお仕込み賜り、日々になってくる理を教祖の御心に照らしながら、人だすけの実を高め、御恩報じを旨として、自らの足元から陽気ぐらしの輪が広がりますよう、お導きお育ての程を、一同と共に慎んでお願い申し上げます。  
 (原文のまま)

### 入社祭

(立教180年7月22日)

▼雅峰△落合屋

【計1名】

7月22日(土)  
 【香川県丸亀市】

天候 晴時々曇

最低気温 26.2℃  
 最高気温 34.4℃  
 平均気圧 1010.4 hPa  
 平均湿度 75%  
 平均風速 1.6 m/s  
 日照時間 10.0 時間  
 降水量 0.0 mm

### 攝南分教会3代会長就任奉告祭



攝南分教会(皆川道子会長、大阪府岸和田市)では、前会長皆川一雄氏のお出直しにより、6月26日のお運びで前会長夫人・皆川道子氏の教会長任命の理のお許しを戴いておりました。去る7月2日午前10時より、大教会長夫妻(随行・片山好治役員)を迎え、3代会長就任奉告祭を執り行いました。参拝者22名。

当日は薄曇りながら最高気温が摂氏33度を超える真夏日の中、勇んでおつとめが勤められました。

挨拶に立った大教会長は、教会設立当初の先人の姿勢を振り返り、改めて元一日を温めることが就任奉告祭の一つの意義であることを述べた上で、「教祖のひながたは、誰

もが心一つでたどることのできる陽気ぐらしへの道です。心の陽気は、自分を勇ませ、周りを明るくします。親神様、教祖のおかげで今日あることにお礼申し上げて、どこまでも素直な心で道を求め続けましょう」と、教祖ひながたの道を手本に、素直に勇んで道を歩むことを促されました。

祭典後の直会は教会から移動して、和やかに行われました。

#### 皆川道子氏略歴

昭和6年1月9日生まれ。昭和24年7月21日、おさづけの理拝戴。同年7月27日、修養科第97期修了。昭和25年10月5日、教師検定合格。昭和26年2月24日、教師補命。立教180年6月26日、攝南分教会3代会長拝命。



岸和田だんじり

### 本千賀分教会 移転鎮座奉告祭

本千賀分教会(山本泰三会長、千葉県船橋市二和西4丁目19番10号)は5月26日のお運びで教会移転の理のお許しを戴いておりましたが、予定通り移転地の神殿造作も整いましたので、大教会長を迎え(随行・老木邦光役員)、7月16日午後6時より鎮座祭、翌17日午前10時より奉告祭を執り行いました。参拝者22名。

本千賀分教会は昭和37年に船橋市海神3丁目に移転して教会活動を行ってききましたが、借地のため昨年春頃より地主より立ち退きを迫られました



ので、役員信者一同相談の上、同じ船橋市内に土地建物を購入し、移転の運びとなりました。

移転地は築10年の物件ながら、神床はおちばに正対し、神殿上段で6人が並んでおつとめが勤められる上に、駐車場もあり、奉告祭は勇んでおつとめが勤められました。

挨拶に立った大教会長は、神殿移転に向けて尽力された教会の方々の労をねぎらわれた後、「神殿移転は、ホームグラウンドが変わったこと。少

し時間はかかるかもしれないが、この地に根を張っていくことが大切」と話され、続いて教会の使命について真柱様のお言葉より「教会はおたすけを願う場。日々のご守護にお礼申し上げる場。更なる成人につとめる場。会長はじめ教会信者が一つの家族のような和やかな雰囲気の場合。いず

んでいる時も教会に来れば気持ち晴れる、和らぐ場に」と引用され、「心機一転、大きなたすけ道場としての第一歩を踏み出して頂きたい」と結ばれました。

### 本宮濱分教会 鎮座奉告祭

本宮濱分教会(石橋肇会長、岡山県邑久町)では、神殿雨漏りのため、5月26日のお運びで「神殿及附属建物屋根葺替願」の理のお許しを戴いておりましたが、予定通り屋根の葺き替えも完了しましたので、大教会長を迎え(随行・篠原丕王准役員)、7月3日に鎮座祭、翌4日に奉告祭を執り行いました。参拝者11名。



# 本島にお宝が見つかった!

テレビの人気番組「開運なんでも鑑定団(テレビ東京)」の6月27日放送で、本島町笠島の吉田稔さん(本島汽船社長)が鑑定依頼した日本画が、鑑定士安河内眞美氏により、伊藤若冲(1716~1800)の本物「鶏図双幅」と判明し、高額査定されました。



伊藤若冲  
鶏図双幅  
吉田邸所蔵

そのお宝が、本島町笠島の吉田邸で公開されることになり、去る7月22日の大教会教員会会議終了後、希望者を募って見学に行きました。

築100年の吉田邸は、塩飽大工による高度な建築と様々な美が残る名家で、映画やドラマ撮影でもたびたび使われる場所です。

若冲の日本画は、本島汽船の先代社長が、知人より材木運搬費の代わりに譲り受け、約50年間、蔵に眠っていたもの。保存状態も良く、約25年前の作品とは思えないほど瑞々しい筆遣いが残っています。

吉田邸にはこの他にも、円

山応拳の子犬図や古九谷焼をはじめ多くの古美術工芸品が所蔵されています。また建物には現在入手困難な北山杉や屋久杉が随所に使われ、入縁側や陶器製のトイレ、「塵落とし」と呼ばれる建築技法、刀の鑿(ほ)が埋め込まれた欄間、塩飽大工の技が散りばめられた床の間、さらに老松の見事な日本庭園など、高度な美意識と大変な財力を有していたことがうかがえます。

同時に、明治時代の本島で佐藤栄佐先生や片山好造老会長様の布教の様子も想い起こされました。

# 各地の動き

## 本千嘉分教会おとまり会

本千嘉分教会(佐志信夫会長、福岡市東区)では、7月1日に教会おとまり会を実施し、少年会員8名、育成会員4名、計12名が集いました。



夏の鼓笛隊合宿を目指して規律訓練やパート練習を行ったほか、佐志会長による「お道の紙芝居」、教会周辺のバス掃除ひのきしんも行いました。大教会より菅岡あや、鎌田康典、原口いつほが指導員として派遣されました。



吉田邸(本島町笠島)

# 役に立たん話

昭和17年頃、本島の教会で撮影された子供達の写真が残っている。男子は全員丸坊主、裸足に草鞋。女子は全員おっぱいで着膨れして、もんべは継ぎ接ぎだらけ。当時の教会の様子を知ることが出来る貴重な一枚だ。貧しい生活であったことは一目で分かる。それをよく写真に残してくれたと思う。

戦争が長引き、教会の青年さんは次々と兵隊へ応召された。そこで月次祭の雅楽を子供達4人が勤めることになった。寺本管一郎少年が小学5年生のときだ。

「窪田新一先生(当時30歳)が、子供にも筆樂が鳴るようにと、舌(リード)をていねいに削ってくれた。おまつりでは、ただ音が鳴っただけで、教会の皆が喜んでくれた」

子ども達にとって本島は自然が豊かで遊びに事欠かない。「小学校の横を流れている川にあった足洗い場には、メダカがいっぱいおった。橋のあたりでは、ウナギを捕まえることができた」

「塩田の隣の川(汽水域)には、イナ(ボラの幼魚)がたくさん泳いだ。潮が引いて水深が浅くなったときはイナを正面から手で捕まえることができた。わしは一日で5匹捕まえたことがあった」

「ヒラメの稚魚(体長3センチほど)は、左足を少し浮かせて、右足でそっと誘い込んで、グツと踏んで捕まえた。でもこれは小さいから、食えなかった」

そんな管一郎少年は、小学校に上がるとき、数を5つ数えることができなかった。そこで「茗荷を食べたら阿保になる」と言われ、今日まで86年間、茗荷は一度も口にしないという。

「九州の父方のおばあさんが、頭が良くなるからとサボテンの花の贈を持って来てくれた。今思えば、もっと食べておけばよかった。おばあさんの名前も覚えていない」

(向所)



### 8月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：8月21日～22日
- 派遣教会：同朋①、赤峰②

〈詰所炊事ひのきしん〉

- 期間：8月24日20:00～26日13:00
- 派遣教会：本浜②、張家口①

提出教会 (立教180年7月22日) 30教会  
 報告数 1、268回  
 累計 10、352回  
 ※前年同月累計差 1730回減

### おとぎげお取り次ぎ報告

立教180年6月分  
 ▼本九△川村文哉 ▼栄東峰  
 △丸山高志 ▼エヌ・シー△  
 山口知里 【計3名】

### おとぎげの理拝職者

立教180年7月、本島関係のお  
 運びはありませんでした。

### 事情はいづ

### 信者会館を一部改築

【大教会】

香川県ならびに丸亀消防署の指導により、現在の大会館信者会館と食堂棟を繋ぐ木造渡り廊下部分を切り離すことになりました。工事は10月23日より約1ヶ月間の予定です。皆様にはご不便をおかけします。

### 本千賀分教会移転

【大教会】

本千賀分教会(山本泰三会長)は、下記へ移転完了いたしましたので、お知らせします。  
 〒274-0806  
 千葉県船橋市二和西4丁目19番10号  
 天理教本千賀分教会 山本泰三

### 統計 (6月1日～30日)

教会名	初席	中席	妻の種	修科	教人講習	検定講習	にをいがけ名簿提出教会 (6月)									
							本島	本千代	倉峰	本樺	攝泉	栄峰	本室	本備前	大雄峰	
本島		1					0	3	3							
本草				1			16	5	20							
本福		1					4	15	58							
与本		2					30	2	20							
本九			1	1			9	10	38							
本神		1					4	4	1							
大雄		2					4	4	1							
栄東			1				2	3	20							
大隅	1						2	3	20							
肥後		1					103	3	13							
新信		1					4	8	16							
鶴峰		4					19	2	31							
マウイ							10	8	129							
エヌ・シー			1	2			10	8	129							
ザガパフィック				1			2	10	18							
合計	1	13	3	5	0	1	計36教会		640名							

### 修養科第913期修了

(立教180年7月27日修了)  
 ▼赤峰△富村照子 【計1名】

### 教会長資格検定合格

(立教180年7月20日付)  
 本草 倉嶋孝明 【計1名】

### をびや許し

(立教180年6月分)  
 ▼本田中△岡田映子 ▼月見  
 山△大野原由香 ▼本眞陽△  
 辻千明 ▼神峰△近江真由子  
 【計4名】

### 証拠守り下附

(立教180年6月分)  
 樺太2、エヌ・シー3 【計5名】

### 三日講習会履修者

(立教180年7月開催分)  
 ■三日講習会I履修者  
 本新田1 【計1名】

### 少年会隊長任命

(立教180年7月付)  
 本陸奥隊 平井るいな  
 大英峰隊 吉永太洋  
 【計2名】

### 大教会長動向

▼8月(予定)▲  
 20日、少年会本島団おつとめ  
 総会と夏のつどい  
 2日、鼓笛隊前夜祭  
 22日、大教会月次祭執行  
 3日、鼓笛隊パレード見学  
 24日、修養科門出まなび  
 4日、本島団鼓笛隊総会  
 26日、本部月次祭参拝  
 6日、本部神殿奉仕当番  
 27日、かなめ会出席  
 13日、攝滋分教会  
 30日、本部神殿奉仕当番  
 会長就任奉告祭  
 以上



### 委員部長講習会

【婦人会本島支部】

- 日時：8月24日(木)より25日(金)
- 会場：本島詰所
- 受講御供：1000円
- 持ち物：ハッピー、筆記具
- 受講対象者：平井幸子(本陸奥)、永島すすみ(渋谷)、永島理菜(宮小路代理)、牧野ハル子(本京)、増田弘子(本護)、沖野明子(本恵)、鈴木幸子(本恵明)、今野晴江(本静濱)、山本理加(本千房)、吉田久江(本千治)、齋藤節子(本千恵)、根岸弘美(本埼玉)、片山孝代(本攝)、花田菊子(本邦)、高島百年子(撫川)、佐藤愛子(琴浦)、池田さわみ(安藝本中)、岩橋雅子(本清水)、長尾善絵(本亀)、岡崎むつゑ(与島)、片山孝子(本宣道代理)、橋爪道枝(本新郷)、向所暉美子(赤峰)、橋口理恵子(雅峰)、馬渡久美子(豪峰)、内藤澄子(吉峰)、橋口ともよ(神峰)、西森綾子(栄森峰)、星三枝子(栄星峰)、宮路そのよ(霊峰)、松下節子(大松峰)、松下美保(大駿峰)、肥後洋子(文峰)、肥後良子(肥後八峰)、吉田正子(新信峰)、長門清子(都峰)
- 詳細については、各自に直送します。

### 本島学生会サマーキャンプ

【本島学生会】

- 期間：8月17日(木)より18日(金)
- 会場：本島詰所

### こかん様に続く会

【婦人会本島支部】

- 日時：8月6日(日)
- 会場：本島詰所
- 対象：女子青年

### あらきとうりょう入門塾

【青年会本島分会】

- 日時：8月6日(日)
- 会場：本島詰所
- 対象：高校生層の青年会員

## 立教180年(第28回)少年会おつとめ総会と夏のつどい

【少年会本島団】

- 期日：8月19日午後4時より22日朝まで
- 会場：本島大教会
- 対象：小学1年生より中学3年生まで、幼児(鳴物、おてふりが出来る未就学児。但し世話取りは引率者をお願いします)
- 参加御供：ひとり3,000円
- 日程：8月19日午後4時より受付開始、Tシャツ配布、おつとめ着合わせ、開会式。20日おつとめりハーサル、おつとめ総会、記念撮影。21日海濱行事、記念パーティー。22日朝づとめ、閉会式、朝食後解散。
- 携行品：海水着(海中メガネ、浮き輪などは自由)、ビーチサンダル、帽子、着替え、ズボン(半ズボン可)、洗面具、保険証(コピー可)。持ち物には必ず名前を記入して下さい。貴重品は事務所

(庶務部)にお預けください。

- おつとめ役割の方へ  
下記小物をご用意下さい。  
男子：白Vネックシャツ、ステテコ(汗取りのため)、足袋(タビックス可)  
女子：白Vネックシャツ、裾よけになるもの(汗取りのため)、足袋(タビックス可)、琴爪(琴の役割でお持ちの方)。
- おつとめ総会地区別役割  
座りづとめ：各教会地区代表者  
よろづよ八首・一・二下り目：本攝分教会、阪神地区  
三・四下り目：本京分教会、渋谷分教会、本浜分教会、東海地区  
五・六下り目：中国地区、九州地区  
七・八・九下り目：四国地区、山陰地区  
十・十一・十二下り目：赤峰分教会  
※各自稽古をお願いします。

### MOMOの会

【婦人会本島支部】

- 対象：若いお母さん、ならびに少年会員を子育て中のお母さん
- 日時：8月20日
- 会場：本島大教会

### 青年会ひのきしん隊

【青年会本島分会】

- 参加動員目標数：20名以上
- 入隊御供：1000円
- 期間：9月1日から9月24日まで
- 集合：8月31日午後4時、本島詰所
- 貸与物品：ヘルメット・作業服・ハッピー・帯
- 携行品：保険証、日用品、作業用ベルト、作業用靴下、履き物(日常用・作業用・サンダルあれば便利)、ネクタイ、カッターシャツ、スラックス、白靴下、筆記用具
- 参加対象：高校生(17歳)以上の男子。青年会層以上(41歳以上)でも大歓迎
- 宿泊先：〒632-0012 天理市豊田町200-1 第百母屋青年会ひのきしん隊
- 詳細については青年会(伊東賢太郎)まで

### 育成に役立つ講習会

【本島学生担当委員会】

- 日時：9月24日(日)  
午前9時から午後4時
- 会場：本島詰所
- 対象：育成に関わる方(学生も可)
- 講師：田邊幹善先生(中野大・一越分教会長)
- 内容：教会に繋がる方とのコミュニケーションの取り方など
- 申込方法：本島大教会または詰所にFAXで、氏名、年齢、教会名、電話番号をお知らせ下さい
- 詳細については、担当(牧野善明：090-5407-4004)まで

### 第93回天理教青年会総会

【青年会】

- 式典：10月27日(金)午前10時
- 会場：本部中庭
- 総会前夜は「御成婚慶びの集い」が、夕づとめ後に行われます。

### 青年会本島分会総会

【青年会本島分会】

- 日時：11月23日(祝)
- 会場：本島大教会

<http://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト